

ごみ有料化に関する議論の経緯

年月	内容
平成 23 年 11 月	○「ごみ減量・資源化指針 2011」を策定 ・ごみ減量を推進する作戦の一つとして、「ごみ処理有料化制度の導入を検討する」ことを明記
平成 23 年 12 月	○環境審議会に「ごみ処理有料化制度の導入について」について諮問 ・「ごみ減量・資源化検討部会」を設置
平成 24 年 10 月	○環境審議会より「ごみ処理有料化制度の導入について」答申 ・「ごみ処理有料化制度は、次世代に先送りすることなく実施することが望ましい」
平成 24 年 5 月 ～ 平成 26 年 10 月	○ごみ処理有料化制度を含む市民説明会の実施 ・計 40 回、1,328 人が参加
平成 26 年 3 月	○市議会「家庭ごみ無料収集の継続を要望する請願」を採択 ・請願内容 ①市民の理解が得られるまで、家庭から出る普通ごみの無料収集を継続すること ②雑がみ回収、プラスチック製容器包装の分別収集などの施策を強化すること
平成 29 年 3 月	○「ごみ減量・資源化指針」を策定 ・「ごみ減量施策の取り組みにより、ごみ削減効果が認められないと判断した際には、普通ごみの有料化に向けた検討を開始する」
令和 3 年 9 月	○ごみ減量対策推進協議会に「ごみ減量・資源化指針」の改定について諮問
令和 4 年 7 月	○ごみ減量対策推進協議会より、「ごみ減量・資源化指針」について答申 ・「有料化の課題などをさらに調査研究するとともに、市民の意見を集約し、ごみの減量作戦の効果や、 ごみを取り巻く社会情勢などを総合的に勘案し、実施を判断すべきである 」 ○「ごみ減量・資源化指針」を改定
令和 4 年 7 月 ～ 11 月	○「ごみの減量と資源化」に関する市民意見交換会、市民アンケートの実施（有料化制度についても意見聴取） ・市民意見交換会 計 59 回、999 人が参加 ・市民アンケート 1,088 人が回答 ・個人事業所アンケート 836 事業所が回答 ・収集運搬事業者アンケート 12 団体が回答